

店は、本國諸品を販賣し、其他青海チンハイの蕃民（清人は之を稱す）等が牲口を鬻ぎて、更に、米及麵粉を購ふて歸るを見る。

盜難

昨即ち十八日の夜、梁上の君子あり、車後に積める草籠中より、火酒、香油各々一瓶、外に白菜三十把、粉條數把を奪ひて去る、之を價格に積れば實に些少たるのみ。然れども地は戈壁に屬して、萬金尙ほ欲する所の物品を得べからざるを奈何せん。

當城は僻地と雖も、州治の所在地、假令全く其の失品を償ふこと能はさるも幾分を補充し得たるを幸とす。前には鎮羌驛にて、從僕の逃走するに會ひ、今又此處に此難に遇ふ。されど僅々の物品、彼の意を満たし得たるかを思へば、予は寧ろ彼を憐むと共に彼も亦天涯孤客の品たるを念ひて、敢て多くを奪はざりしを諒とせん乎。

安西より
の交通路

此地又駱駝路に依りて東に向へば、索果ソコ、博爾鑽ボルツァンを経て張家口及歸化城に到るべく、其行程天候順なれば八十餘日。西に向つては、敦煌トシフワン、羅布淖爾ルオブノールを経て、和闐ホーテンに到るの行程約六十日。南に向つては、敦煌、安南アンナン、渠チユイを経て、青海の阿木屯アムトンを過りて、西藏チベットの拉薩ラサに到るの行程約六、七十日と。而して此より發する電信は、其途上に阻害なくんば、六、七時間にして北京に達すと云ふ。